

前年度、コロナ禍により消極的な対応に終始したが、予防策などの経験を活かして徹底した対策を講じ前年度、取り組みなかつた計画を積極的に実行していく。

1 開所について

○令和3年度 開所日数

	就労継続支援B型		生活介護	
年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
開所日数	247日	241日	249日	243日

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、その予防の徹底と共に、新たな支援方法や行事等のあり方を考え、利用者の新しい生活様式の確立を図り、積極的に活動を行っていきます。

2 利用者について(令和3年4月1日)

在籍状況 全体 32名 男性 12名 女性 20名

(就労継続支援B型) 工房 男性 10名 女性 10名→ 令和3年4月より女性 1人増 合計 21人

(生活介護) 男性 2人 女性 8人→ 令和3年4月より男性 1人増 合計 11人

密を回避できる環境を保ちながら、新規利用者の受け入れを行っていく。

3 活動について

(就労継続支援B型)

作業工賃 2,700,000円(昨年度 2,522,342円)平均工賃 12,000円(昨年度 10,211円)

工房では 作業の種類が増えたことで多くの利用者に得意な作業が見つかり、モチベーションの向上に繋がっていました。しかし、コロナ禍により状況が大きく変化、下請け作業の発注量が減少または途切れ発注待ちの企業が多く、現在も完全な回復に至っていません。今後は新規の発注元を開拓していく必要があります。ただ、発注元や発注量を増加させることで規定の開所時間内に作業を終えられず利用者、スタッフ双方に負担がかかってしまうため、作業の質と量をしっかりとコントロールし、効率的にかつ負担が最小限にとどまる様に調整していきます。施設外作業では、スキルアップにより参加できるメンバーも増えてきています。前年度までの作業を継続しつつ、より多くの利用者が工賃の高い作業(スキルの高い作業)に参加できるように支援します。

喫茶では 感染症の収束状況に沿って、感染予防対策徹底の上、通常営業に戻していきます。現在の売上を確保するために、持ち帰り販売、店頭販売などを継続し、今後起こりうる様々な状況に備え、新たな営業形態を模索、検討していきます。

(生活介護)

生活介護では、目的、支援の計画があり、活動を通して、自己選択・自己決定を経験することで、個別の自立に向かった支援に繋がります。また、様々な場面で、他の利用者に関わりコミュニケーションがはかれる可能性を設けて、そこに支援を入れていきます。すべての活動が「楽しかったね！」で終わるのではなく、利用者にとっての自立の機会となり、個別支援計画の支援が、入り込む活動として、位置づけたいけるように取り組みます。個々に応じた活動により、集中できる時間を提供し、情緒の安定を図っていく、作業の持続や意欲に繋がられるよう支援します。

4 就労支援について

関係機関からの積極的な情報収集により、利用者に情報提供、個別相談等、就労に繋がる機会を増やしていきます。作業活動により、技術や知識を高め、就労への意向を喚起していきます。より良い工賃への意向がある利用者にも就労への気持ちを押り起こし意識を高めていきます。

5 生活支援について

住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう日常の活動の中で、作業面だけでなく生活面もサポートしていきます。利用者の心身の状況に応じて自立支援／日常生活の充実のための機能訓練を行います。多くの利用者家族が不安を感じている、親亡き後とは、親が亡くなった時のことばかりではなく、自身の入院や祖父母の介護で家を空けなくてはならないなど、何らかの理由で家に戻れず家族と離れて暮らす事も想定されます。何らかの事情で、環境が変わっても安定して現在の生活を継続できるように、本人も家族も様々な状況を想定し、関係機関を含めて共に考え準備を促していきます。

6 健康管理について

感染拡大を予防する新しい生活様式に沿って、手洗い、うがい、3密の回避、健康観察、検温記録等を継続して行います。感染症への予防接種は、積極的に促し実施していきます。嘱託医、看護師の訪問時に本人の状態を伝え医療面での適切な注意や助言をいただきます。常に利用者の健康状況に注意し協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行います。体力の低下や身体機能の低下が心配される利用者を対象に、楽しみながら体力機能の維持回復を図るよう外気浴を兼ねてウォーキング(歩行訓練)やボランテア講師によるヨガ教室、福祉会館内機能回復訓練室などを活用して、運動する機会を増やしていきます。

年齢や体力別にグループ分け、それぞれのペースでそれぞれの体力に合ったコースを歩く事で、体調の維持、機能の回復、体力の維持増進を図っていきます。

7 職員体制について

次世代を担うスタッフの育成を図るために、資格要件を満たす職員を3年後サービス管理責任者とするべく、基礎研修の受講、その後、実務の中で実践研修を進めていきます。長期的な観点から、次世代の人員確保として、求人継続していく。

(施設内研修)

職員研修会において情報を共有及び職員一人一人の支援力、専門性の向上に努めていきます。課題である個別支援計画についても計画的に情報共有、意見交換を図っていきます。連絡会などを通じて、支援内容課題について、支援員、指導員による意見交換、情報共有により解決策を検討します。

(施設外研修)

リモートでのオンライン研修、WEB会議への参加、活用を積極的に行います。責任者のもと各職員と検討、一人一人の実務に適した研修を選択受講、研修後に職員間で共有する機会を設けることで、職員全体での理解度を高めて行きます。

8 防災について

避難訓練は、定期的計画的に、事業別、活動場所別に、自主訓練を実施する。火災訓練の他、地震・河川氾濫等の災害を想定した訓練を行う。

ここ数年で、様々な自然災害や感染症予防、クワスター対策または発生時の対応をマニュアル化しているを、全職員に確認、周知する機会を設けていきます。

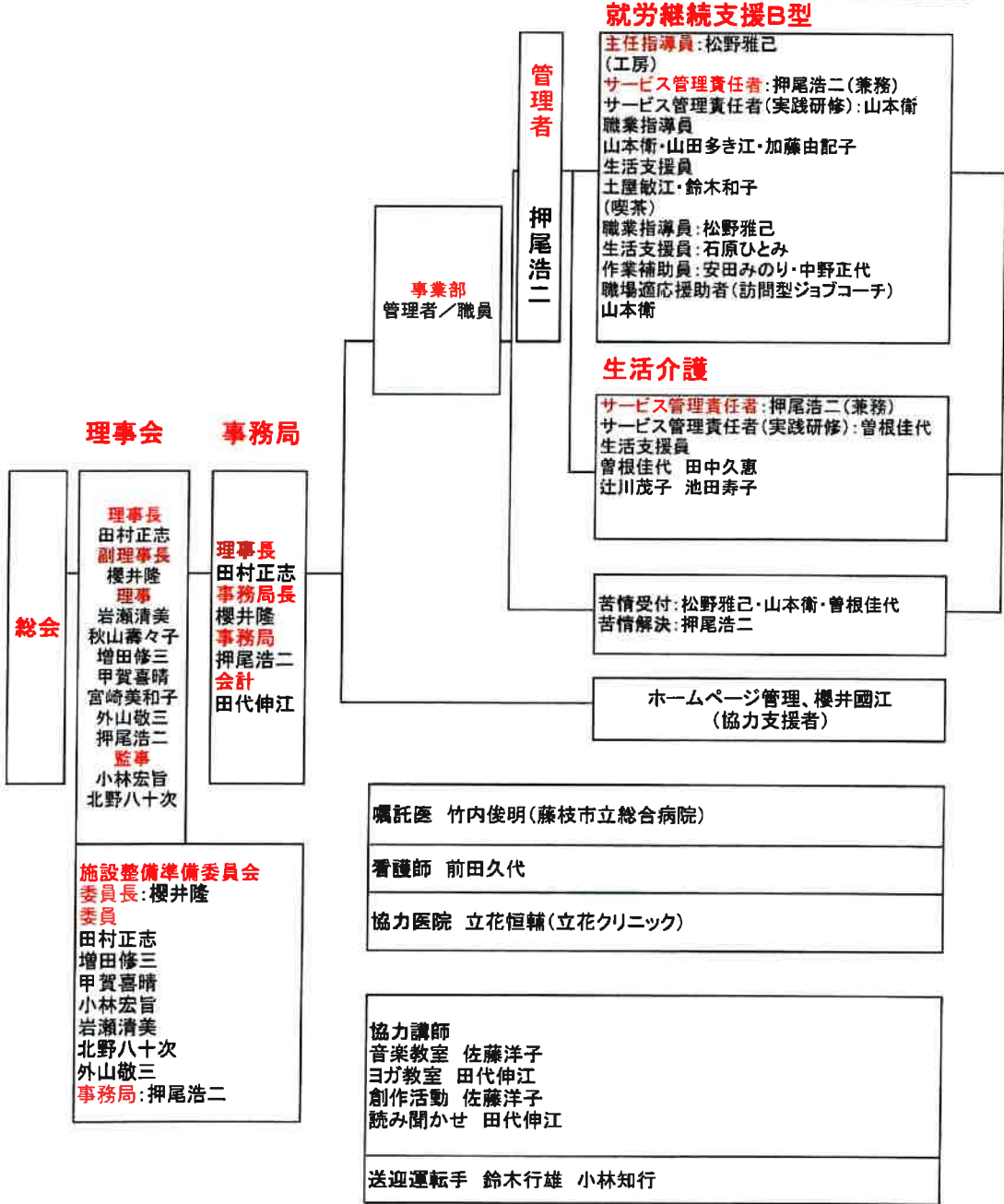
職員については、個人の問題では済まされないこともあり施設内感染を起こさないよう、全職員一丸となって感染対策を継続していきます。

令和3年度 野いちご事業所内研修計画

研修テーマ	対象者	4,5月	6,7月	8,9月	10,11月	12,1月	2,3月
職員連絡会 (毎月) 各事業	職業指導員 生活支援員	○ 就労 生活	○ 就労 生活	○ 就労 生活	○ 就労 生活	○ 就労 生活	○ 就労 生活
全体連絡会 (隔月)	職業指導員 生活支援員	○ 全体	○ 全体	○ 全体	○ 全体	○ 全体	○ 全体
職員研修会 (隔月)	職業指導員 生活支援員	○ 全体	○ 全体	○ 全体	○ 全体	○ 全体	○ 全体
事業報告・計画について	職業指導員 生活支援員					○ 全体	○ 全体
個別支援計画について	就労継続支 援 B 型 生活介護					○ 全体	
生活介護 (支援) について	生活介護	○		○		○	
虐待、権利擁護等研修／虐待防 止リーダ－	全職員		○ 全体				
相談支援について	サピ管実践 研修		○		○		
防災について／危機管理	生活支援員 職業指導員			○			

連絡会などを活用、研修の機会とする。全体研修などは、半日または時間を取って実施。
外部研修／オンラインなどリモートでの参加も検討していく。随時、担当職員が参加する

令和3年度NPO法人野いちご組織・分掌(案)



職業指導	下請作業	作業受注、調整、スケジュール管理	山本衛
	自主製品	コーヒー(ドリップ)/抹茶ラテ/焙煎コーヒー	山本衛
	喫茶	喫茶「野いちご」営業全般	松野雅己
生活支援	保健衛生	利用者の日々の衛生管理 利用者の健康診断 利用者の身体健康状況確認 伝染病予防・発病への対応	山田多き江 田中久恵 (前田久代)
	安全指導	施設内の安全管理 通所・帰宅の安全指導	就業継続支援B型 山本衛 松野雅己 生活介護 曾根佳代 田中久恵
	行事	歴行事、社会体験活動等	田中久恵 土屋敏江
	給食	給食の注文、記録集計	山本衛 田中久恵
	記録	行事記録、日報作成、野いちご日より	山本衛/松野雅己/ 田中久恵
サービス管理	個別支援計画	個別支援計画策定会議の運営 個別支援計画の説明と同意承諾 個別支援計画の実施状況把握 定期モニタリング、状況に講じて随時 利用者・家庭より聞き取り、訪問 個別支援記録 家庭、関係機関との情報共有	就業継続支援B型 押尾浩二 生活介護 押尾浩二
運営管理	計画	年間計画・月案等の作成・調整	押尾浩二 松野雅己
	研修	研修の推進・職員会議	松野雅己
	人事	人事諸届関係書類	押尾浩二 田代伸江
	文書	公文書の受理・発送 その他文書処理	押尾浩二 田代伸江
	経理	利用料の請求 その他の経理事務	田代伸江 押尾浩二
清掃・整理	施設内外の清掃、備品の管理	山田多き江・曾根佳代 石原ひとみ	
送迎・車両管理	利用者の送迎、送迎車両の整備 点検	鈴木行雄 小林知行	
防災訓練	計画的訓練実施・非常食・防災用品	山本衛 松野雅己 曾根佳代	
地域活動	地域各団体	山本衛 松野雅己	
工賃	工賃管理、評価等	工房・喫茶 生活介護	

令和3年 年間計画表(全体)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1			連絡会(生活) 防災訓練(工務)			連絡会(生活) 研修	1	連絡会(生活) 研修			連絡会(生活)	連絡会(生活) 研修	1
2					連絡会(生活)		2	開所(就労)		冬期休暇			2
3		憲法記念日				日帰りバス旅行 就労B	3						3
4		みどりの日					4	連絡会(生活)	文化の日			日帰りのバス旅行 就労日	4
5	連絡会(生活) 防災訓練(工務)	こどもの日		連絡会(生活) 研修			5	ふれあいレクリ エーション	連絡会(生活) 個別支援計画	新年会	開所(生活)		5
6							6						6
7			防災訓練(生活)				7						7
8		開所(就労)			山の日	連絡会(就労)	8				連絡会(就労)	連絡会(就労)	8
9			連絡会(就労)		振替休日		9	理事会					9
10	開所(就労)	連絡会(生活) 研修		開所(生活)			10		連絡会(就労)	開所(生活)	成人の日	日帰りのバス旅行 生活	10
11						開所(生活)	11				連絡会(生活) 研修		11
12							12				連絡会(就労)	開所(生活)	12
13	防災訓練(生活)	事務局会議			夏期休暇	防災訓練(工務)	13	連絡会(就労)	開所(生活)		建国記念日		13
14	連絡会(就労)			連絡会(就労)		研修	14		連絡会(就労) 個別支援計画		防災訓練(生活)		14
15		開所(生活)	研修				15		防災訓練(生活)		全体連絡会 事業計画		15
16							16						16
17	開所(生活)			開所(就労)		日帰りバス旅行 生活	17			開所(就労) クリスマス会			17
18		連絡会(就労)			連絡会(就労)		18				職員研修会 個別支援計画		18
19		連絡会(就労)					19	研修					19
20	全体連絡会					敬老の日	20		理事会	全体連絡会 事業報告			20
21		理事会			開所(生活)		21					春分の日	21
22			全体連絡会	海の日			22		職員研修会	事務局会議	開所(生活)	全体連絡会	22
23				スポーツの日		秋分の日	23	開所(生活)	勤労感謝の日			天皇誕生日	23
24			事務局会議		全体連絡会		24	ふれあい広場		開所(生活) クリスマス会		事務局会議	24
25		職員研修会				開所(就労)	25		事務局会議		職員研修会 個別支援計画		25
26					事務局会議		26	全体連絡会			開所(就労)	理事会	26
27				職員研修会			27	開所(就労)			事務局会議		27
28					開所(就労)	職員研修会	28	事務局会議					28
29	昭和の日	通常総会		事務局会議			29				開所(就労)		29
30	休日					事務局会議	30		冬期休暇				30
31							31						31
	21日	19日	22日	21日	20日/20日	21日	22日	21日	20日/21日	19日	19日	22日/23日	247日/250日

年間の各行事については、地域の状況を見守りながら、安全を最優先して実施を検討していきます。変更等がある場合は、随時お知らせ致します。